

2025 WORLD ROWING UNDER23 CHAMPIONSHIPS REPORT 4 (7/23)

7月23日(水)

いよいよU23世界選手権が開幕いたしました。

この日の12:00に行われたチームマネージャーミーティング & DrawにてHeat(予選)の組合せが決まり、夕方にはBW2xとBM2xのHeatが行われました。

【チームマネージャーミーティング & Drawの様子】



World Rowingのローランド会長の挨拶からチームマネージャーミーティング & Drawが始まりました。



種目ごとに出漕する国と棄権した国の確認があった後に、ランダムに予選の組に振り分けられます。万一出漕する国に自国が含まれていない場合は、予選の組の振り分けが始まる前にアピールし、自国を入れるよう交渉することになります。

BW2x予選

スタートからギリシャとフランスが高いレートで飛び出し、オランダ、日本、ブラジル、インドネシアが追う展開でレースが始まった。日本はブラジルと共にオランダを追う3位を争うグループ内に位置取りし、タイムも狙うことができるポジションでレースを進める。

第2クォーターでも日本はさらに伸びを見せ、一時は3位オランダに並びそうなどところまで行ったが、第3クォーターに入りスピードの勢いがやや鈍り、そこで3位オランダ、4位ブラジルとの差が開き苦しい展開に。ラストクォーターで必死に挽回しようと追い上げるも届かず5位でフィニッシュ。タイムでのセミファイナルA/Bへの進出も逃しファイナルCに進むことになった。



←先行するブラジル(手前)を必死に追いかけるBW2xクルー。左から S清水選手(関西電力)、B浅井選手(新貞山RC)。

BM2x予選

スタートでクロアチアとリトアニアが飛び出し、ポルトガル、ニュージーランド、日本が追う展開に。日本は多少のミスオールがあるものの、勢いを取り戻そうと挽回を図る。先行する国を必死に追い視野に入れていきたいところだが、他国の勢いは止まらず徐々に差が広がり始める。

何度も挽回のチャンスを伺うが、苦しい展開はかわらず。ラストクォーターで先行するニュージーランドとの差を詰めるが5位でフィニッシュ。タイムでもセミファイナルA/Bには届かず、ファイナルDに進むことになった。



→必死に前を追うBM2x クルー。左から S川上選手(早稲田大学)、B石井選手(日本大学)。



7月24日(木)の出漕クルー



10:12 (日本時間17:12)

BM1x HEAT1

- 1 ウルグアイ
- 2 オーストリア
- 3 トルコ
- 4 イタリア
- 5 スロベニア
- 6 日本

←BM1x永坂選手(東レ滋賀)

引き続きご声援よろしくお願いいたします